



テトテトテトテ

校長だより 令和5年2月28日 NO. 9

早いもので、明日からもう3月。昼夜の寒暖の差はありますが、日中のぽかぽか陽気は春を感じさせてくれます。春を待ちわびていたかのように、幼稚部・小学部の子どもたちは、元気に外遊びを楽しんでいます。

今回お伝えする「松ろうの魅力」は、ICTを活用した授業及び生活指導の取組です。

今年度の校内研究テーマは、「主体的な心『もっと〇〇したい！』を育む授業づくり ～ICTを取り入れた取組～」でした。〇〇には、各学部の子どもを主語にした中心課題を設定しました。

- 幼稚部・・・「もっあそびたい！」
- 小学部・・・「チャレンジしようとする心」
- 中学部・・・「もっと伝えたい！」
- 高等部・・・「一步踏み出し、やってみたい！」
- 寄宿舎・・・「もっと自分らしく生活したい！」

まずは端末に慣れるところから始まり、様々な使い方を試行錯誤する中で、教職員と子どもと一緒に活用を進めてきました。先日の研究職員会で、各学部の1年間の実践報告を聴きました。どの実践も、一人一人の子どもの実態等を的確に把握し、主体性を引き出す「仕かけ」がたくさん創られていました。そして、学習を進める中で、新たな課題を見つけ、自ら調べたり話し合ったりするなど、課題を解決するためのツールとして活用している姿も見られ、取組の成果を実感したところです。

今後も、聴覚障がいのある子どもの「個別最適な学び」と「協働的な学び」という観点から、ICTの新たな可能性を指導に活かすことで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげていきたいと考えます。来年度から、定期的に学校公開日を設けますので、ICT活用の実際をぜひ見に来ていただきたいと思ひます。

【事例①】幼稚部 「元気しらべ」(健康観察)

仕様した機器：iPad
 使用した機能・アプリ：Keynote
 ★体調の手話表現の後、該当の体調イラストにタッチ
 (選んだ体調に見合った返答のリンクにとぶように設定)

【事例②】中学部 総合的な学習の時間(合同)

仕様した機器：iPad
 使用した機能・アプリ：Google ジャムボード
 ★体験学習の事前事業
 シジミについて知りたいこと・質問等を考える活動

